

第 9 回委員会（2002.3.30 開催）結果報告	2002.4.3 庶務発信
<p>開催日時：2002年3月30日（土） 13：30～17：30 場 所：国立京都国際会館 アネックスホール</p>	
<p>1 決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月11日の全体勉強会に向けて、全委員に対して、委員会および各部会の中間とりまとめ案（資料2-1、2-2、2-3、資料3）について意見照会を行う。</li> </ul> <p>2 審議の概要</p> <p>（1）前半の部：ご意見をお伺いする会</p> <p>本日の会について</p> <p>庶務より、意見発表者候補の選出の考え方と結果について説明が行われた。</p> <p>一般からの意見発表と意見交換</p> <p>9名の意見発表者を前半5名、後半4名に分け、1人7分（その後の質疑応答3分）で発表頂いた。また、前半、後半ごとに委員と発表者を交えて意見交換を行った。意見交換の際には一般傍聴者からの発言も募り、1名から発言があった。</p> <p>（2）後半の部：会議</p> <p>各部会の中間とりまとめ状況報告と意見交換</p> <p>資料2-1、2-2、2-3を用いて各部会の中間とりまとめの状況が報告され、意見交換が行われた。</p> <p>各部会のとりのまとめでは、共通する部分ではできるだけ委員会にまかせ、地域の特性や独自性を出していくことなどが確認された。</p> <p>委員会の中間とりまとめに関する議論</p> <p>資料3「中間とりまとめ案」について説明が行われ、委員会の中間とりまとめに向けた意見交換が行われた。主な議論としては下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流域全体として水需要管理を実施することの重要性について</li> <li>・ 「洪水被害を無にすることは不可能であり、受忍することも必要」という考え方やその表現方法について</li> <li>・ 川と人をつなぐ役割を果たす「河川レンジャー」や「流域センター」の重要性、具体的なイメージ、記述の仕方などについて</li> </ul> <p>河川管理者からの説明</p> <p>滋賀県および淀川工事事務所より、配布された資料（資料5、資料6）について説明が行われた。</p> <p>一般傍聴者からの意見聴取</p> <p>一般傍聴者6名から発言があった。</p>	

このお知らせは委員の皆様には主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を、発言の詳細については「議事録」を参照下さい。